

# 第3回議会報告会を開催

## 4会場で約200人が参加



11月14日(月) 市民プラザ  
あさひが丘会館



**11月15日(火)** 玉手地域コミュニティ会館  
 堅下北コミュニティ会館

柏原市議会では昨年11月14日（月）・15日（火）に第3回議会報告会を開催しました。

報告会では報告者の説明の後、質疑応答の時間を設け参加していただいた皆様から貴重なご意見・要望をいただきました。ご意見・要望につきましては、議会で検討を重ねてまいります。

(主なご意見・要望は2ページに記載しています)

| 議 会 日 誌 |              | 平成23年（2011年）      |  |
|---------|--------------|-------------------|--|
| 11月     | 1日           | 決算特別委員会           |  |
| 2日      | 2日           | 決算特別委員会           |  |
| 7日      | 7日           | 議会報告会全体会          |  |
| 8日      | 8日           | 柏原羽曳野・藤井寺消防組合議会   |  |
| 9日      | 9日           | 藤井寺市・柏原市・学校給食組合議会 |  |
| 10日     | 10日          | 柏羽・藤環境事業組合議会      |  |
| 11日     | 11日          | 農業委員会             |  |
| 14日     | 14日          | 近畿地方治水大会          |  |
| 15日     | 15日          | 大阪府市議会議長会総会       |  |
| 16日     | 16日          | 大阪広域水道企業団議会       |  |
| 18日     | 18日          | 議会報告会             |  |
| 21日     | 21日          | 幹事長会              |  |
| 22日     | 22日          | 議会報告会             |  |
| 24日     | 24日          | 中部市議会議長会定例会       |  |
| 25日     | 25日          | 議会改革特別委員会         |  |
| 25日     | 25日          | 大阪府市議会議員研修会       |  |
| 25日     | 25日          | 議会運営委員会           |  |
| 25日     | 25日          | 市議会だより編集委員会       |  |
| 25日     | 25日          | 大阪府後期高齢者医療広域連合議会  |  |
| 25日     | 25日          | 定例会本会議（議案説明）      |  |
| 12月     | 12月          | 長瀬川沿岸下水道組合議会      |  |
| 1日      | 1日           | 議会改革特別委員会         |  |
| 2日      | 2日           | 農業委員会             |  |
| 8日      | 8日           | 定例会本会議（議案質疑、一般質問） |  |
| 9日      | 9日           | 定例会本会議（議案質疑、一般質問） |  |
| 13日     | 13日          | 市議会だより編集委員会       |  |
| 14日     | 14日          | 総務文教委員会           |  |
| 15日     | 15日          | 市民福祉委員会           |  |
| 19日     | 19日          | 建設産業委員会           |  |
| 19日     | 19日          | 建設産業委員会協議会        |  |
| 19日     | 19日          | 建設産業委員会現地視察       |  |
| 21日     | 21日          | 議会運営委員会           |  |
| 22日     | 22日          | 定例会本会議（各委員長報告・採決） |  |
| 22日     | 22日          | 幹事長会              |  |
| 22日     | 22日          | 大和川右岸水防事務組合議会     |  |
| 22日     | 22日          | 大阪府消防賞じゅつ金共済会理事会  |  |
| 平成24年   | 平成24年（2012年） |                   |  |
| 1月      | 1月           | 市議会だより編集委員会       |  |
| 10日     | 10日          | 農業委員会             |  |
| 12日     | 12日          | 議会改革特別委員会         |  |
| 16日     | 16日          | 議員全員研究検討会         |  |
| 20日     | 20日          | 中部市議会議長会議員研修会     |  |

## 会における討論から

入歳出決算の認定について、12月21日に、柏のくらしを守る請願に対する討論を行いました。は可決、請願は不採択となりました。討論の要

### 歳入歳出決算の認定に対する

#### 反対討論

一つ目の理由は、係争中の方をあえて戦略会議議長（非常勤職員）として採用し、再度有罪判決を受けた同氏の報酬に貴重な税金が使われたこと。

二つ目は、就学援助について、引き下げた基準をもとに戻すことと、子ども達の命にもかかわる暑い教室等へのクーラーの設置が、取り組まれなかったこと。

市民に理解されない、説明できない税金の支出、市民の命とくらしを守るという役割が果たせていないため不認定とする。

### の一部改正に対する

#### 反対討論

柏原・堅下地域では、5年以内に4園から1園に、また国分地域では、10年以内に2園から1園に再編・統合すべきであるという方針（案）が出され、公立幼稚園の統廃合に反対する署名が5,366筆、教育委員会に提出された。教育委員会としてクーラー設置や3歳児保育等充分な努力がされていないことや廃園に向け当該地域の市民の理解を得られるように丁寧な手続きをしていないなど、課題が多く残っている中で、柏原東幼稚園の廃園はない。

### 守る請願に対する

#### 賛成討論

市民の暮らしを守る請願は、国保料と介護保険料引き下げ。低家賃で入居できる市営住宅の建設。子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡充。学校校舎の耐震化早期に100%実施。安心・安全なおいしい中学校給食の実施。中小零細業者を支援する利子補給金制度の復活を求めている。市民の願いが道理あるものであれば、その声をしっかりと受けとめるのが議員の果たす役割。責任ではないか。請願を採択する立場にたれることを求める。

# 「議会報告会」での報告内容と 主なご意見・要望（アンケート含む）

## ～報告内容～

- <報告1> 平成23年第3回定例会議案  
平成22年度決算について
- <報告2> 老人福祉センター「やすらぎの園」・給食・防災について
- <報告3> 議会の取り組みと課題について

## ～主なご意見・要望～

- <市政について>  
人口減少に対する取り組みの強化・市内活性化  
柏原駅東口周辺と商店街の活性化・工業団地を含む企業対策  
金婚式での記念撮影の再開  
「やすらぎの園」の建替えまたは新設・病院改革  
公立幼稚園の3歳児保育の実施  
市立保育所周辺の駐車問題の改善を・医療費助成  
防災訓練・防災無線・地滑り・急傾斜地対策

- <報告会について>  
意見を聴く場に・効率的質疑応答を・タイムリーな話題を  
意見への事後報告・全体的財政の説明  
今後も開催を・意味がない・回数の検討を・班を増やして  
わかりにくい・以前より内容がよい  
幅広いデータをそろえて開催を・PR不足  
開催案内を早く知らせて・若者や女性に対する対策を

- <市議会について>  
議会改革・定数報酬問題・土日開催・委員会の傍聴席増  
決算委員会の日程・録画配信・詳しく議会だよりで報告を  
議員の資質と品位の向上・市民との交流・議員提案

## ～協議の結果～

- 議員報酬については、早急に結論を出すこと。
- 議員定数については、継続審議すること。
- 議会報告会はおおむね年2回実施すること。
- ※その他、皆さまから頂きました貴重なご意見・ご要望につきましては、議会改革特別委員会、各所管委員会で調査・研究に努めてまいります。

# 質疑・質問のあらまし

## 平成23年 第4回定例

11月24日に、平成22年度柏原市一般会計歳入市立幼稚園条例の一部改正についてと、市民討論の後、採決を行い、決算と条例の一部改正旨については次のとおりです。

### 平成22年度柏原市一般会計

#### 賛成討論

まちづくり戦略会議は、事業の見直し等に一定の評価があったと認識している。不況等により、非常に厳しい財政状況であったが、福祉関係は後退が許されず、20%以上の増加となった。また、徹底的な合理化に努め、黒字となったが、今後も安易な支出により、財政破綻をまねいてはいけない。

市議会としては、市財政を、当初予算以来1年以上、質疑質問等で厳しく追求し、監視しており、認定できない理由はない。

### 柏原市立幼稚園条例

#### 賛成討論

柏原市立幼稚園全体で、昭和50年代初め、5歳児の園児数は800人を超えていたが、その後減り続け、最近では約140人と、ピーク時の2割以下に激減している。1クラス数名という柏原東幼稚園では、愛情や信頼感のある人間関係など育むことが出来ない。幼稚園教育要領では、明確に一定以上の集団が必要とされている。私は、この幼稚園教育要領を尊重し、柏原市立幼稚園の今後の在り方基本方針を支持し、改正案に賛成する。

### 市民のくらしを

#### 反対討論

以前から、市民団体等が既に何度も市に要望されてきたこれら請願項目を、他の問題に優先し安易に採択することは、これまでの審議の積み上げやオール柏原で作り上げたところある成果を顧みないものである。財源等諸問題を考えず、単純に、執行機関にその処理を求めることは、議会全体の政治的、道義的責務において、許されなと思う。

よって、私は、本請願については、不採択するとの意見を表明する。

#### 市立柏原病院の現在の状況等について

市民の会  
濱浦 佳子



問 マスコミ各社から、病院関係者に取材が行われている。状況並びに対応について尋ねる。

答 柏原病院、本庁等にマスコミが来ているという質問であるが、11月12日から始まっている。現在、関係機関において調査中であるの

で、答弁は差し控えたい。

問 マスコミが各議員のところに来ていて。調査中だから答えられないのはおかしい。市立柏原病院の医療機器の入札で、指名業者のT社が、平成21年4月21日から今年8月までに行われた入札27件のうち14件、50%以上も落札している。8月においては、6件中5件、実に90%近く落札している。平成21年4月21日以前は、無効・

失格・入札辞退等で1件も落札していない。落札が特定業者に偏っていると思う。医療機器の入札で、予定価格や設計金額はどういう手続きで設定されているか。予定価格や設計金額は公表されているか。これだけ特定業者に落札が集中している。T社に対して、非公表の予定価格や設計金額が病院関係者から漏れている可能性もあると思う。メーカーや品番は誰がどのよ

うに決めるのか。決定した医療機器のメーカーや品番は、入札参加業者に対してどの段階で伝えられるのか。T社が、入札に参加した他の業者より先に、病院関係者から入札で取り扱う医療機器のメーカーや品番を漏らされていることはないか。調査するつもりはあるか。

答 弁護士、医師会、本庁職員等のメンバーで調査委員会を立ち上げる。

問 調査して発表していただけるか。

答 当然である。結果が出たときは、断固たる処分をする。

要旨 事業管理者は、天下りと思う。前任者の水道事業管理者の時の競売入札妨害等の事件と、今回と、結果は別として市長が任命された事業管理者の下で、二つの不祥事が起こっている。事業管理者は必要ないと思う。

#### 「空き家管理条例」の制定について

公明党  
堅木 照久



問 「空き家の適正管理に関する条例」の制定について問う。

答 管理不十分な空き家は、不審者の出入りや放火など防犯上の問題、災害時の危険や景観を損う恐れがあり、市民からの苦情があれば、現地調査し所有者に状況を

伝え、適正管理をお願いしている。最近、他の自治体で「空き家の適正管理条例」の制定の動きがあり、国でも各自治体に対応できる方策が必要との理解があるが、具体的な方針がまだ出ていない。

今後、国の動向を見ながら条例制定について研究していく。

要望 市内でも、空き家が全焼するという火災が発生したが、再発防止のため、是非「空き家管理



適正に管理されない空き家

条例」の制定を強く要望する。現在、空き家に関する苦情で、雑草や樹木の繁茂については環境保全課が対応し、火災予防、建物に関する内容によって各課で対応しているが、雑草が枯れたら放火の危険性があるなど、複数の課に関わる場合も考えられる。

そこで、空き家に関する総合窓口を設けることを要望する。しかし、窓口が一本化されても、法的

根拠がない場合は困るのでは、条例の制定を要望する。

また、今後ますます増加する空き家対策として、所有者の理解と協力を得て、地域の活性化のため空き家子育て世帯に安く貸せる仕組みづくりや、福祉を目的とした施策に空き家を活用する施策、例えば、高齢者の方々の憩いの場として利用するなど検討をするよう要望する。

## 公立幼稚園の 施設整備について

会派に属さない議員  
石橋 實



**問** 公立幼稚園の施設整備については、その充実を図るために、以前から質問しているが、特に昨今、異常気象が続いていることを考えると、園児の健康管理に配慮する必要があると思う。  
公立幼稚園における冷暖房設備



施設整備が待たれる幼稚園（柏原西幼稚園）

の設置は、どのように計画しているのか問う。

**答** 公立幼稚園の冷暖房設備の設置については、できる限り平成24年度において、全ての公立幼稚園の遊戯室に設置したいと考えている。

教育委員会としては、来年度以降、まず小・中学校の音楽室及び図書室等の特別教室を優先的に、冷暖房設備の設置について、財政

状況を勘案しながら検討し進めて行きたい。

**要望** 平成24年度に公立幼稚園の遊戯室に冷暖房設備を設置するとの前向きな答をいただき感謝する。

しかし、何事にも財政状況を勘案しながら検討するのではなく、園児・児童・生徒の健康管理、特に熱中症対策等を第一に考えて、苦しい財政状況の中にあっても、

予算が認められるとすぐに工事に取られるよう、常日頃から検討していただきたい。

また、教育施設の整備については、市民要望に添えていく意味でも、核となる計画を持って計画的に推し進めていく必要があると思うので、教育委員会をはじめ、学校現場や関係者と協議し、計画的な施設整備を進めていただくことを強く要望する。

## ターミナルケアの 取り組みについて

自由民主党政新会  
田中 秀昭



**問** ターミナルケアの取り組みについては、最近緩和ケア病棟が増えてきているが、柏原病院の緩和ケアについて問う。

**答** ターミナルケアとは、末期がん患者などに対して身体的苦痛や精神的苦痛を軽減すること

によって、患者さんの人生の質（フオリティオブライフ）を、向上することに主眼が置かれた終末期医療及び看護のことを言う。このターミナルケアについては、専門の医師、緩和ケアの経験を有する薬剤師及び看護師で構成される専任の緩和ケアチームが必要となるが、当院ではこれらの条件を満たすまでには至っていない。

しかしながら東3階病棟におい

て、終末期を迎えられる患者さんに対し治療と平行して痛みを和らげる緩和ケアに取り組んでいる。現在、この緩和ケア認定看護師の取得に向け、努力しているところである。

今後、本格的なターミナルケアを実施できるよう検討する。

**要望** 緩和ケア認定看護師の取得に向け努力していると答弁された。進行度によっては、本人ばか



望まれる緩和ケア

りでなく家族も非常にづらい。最近抗がん剤治療を拒否される患者さんが増えてきている。こうした中、今後緩和ケアのニーズも高まってくると思う。看護師の理解と協力が必要であり、緩和ケア認定看護師の養成に力を注いでいただきたい。また、医師・看護師が一丸となって、患者さんにやすらかにお過ごしただけのよう努めていただきたい。

## 防災について

公明党  
計盛佐登子



**問** 東日本大震災以降の本市の取り組みについて問う。

**答** 国・府における防災基本計画の見直し及び基本的な考え方や府の被害想定が示された後、柏原市防災会議を開催し、柏原市地域防災計画の見直しを行う。しかし、

見直しを待つだけでなく、避難所の開設を迅速に実施できるよう、気象情報の発令時点で約30人体制の事前配備職員を自主参集させ、そのうち数名を避難所開設準備員として、柏原・堅下・国分・堅上地区の各々一か所に待機体制をとる。また、避難所48か所中29か所に早急な避難者への支援のため、即時に必要なもの（毛布・照明付きラジオ・ブルーシート）を配備

する。更に自主防災組織の結成に向け、事務手続きの簡素化や未結成地区への呼びかけにより、新たに8町会が結成され、114町会中、96町会が結成された。今後は、市民と市が連携したオール柏原での防災体制強化を推進していく。

**問** 柏原市防災会議には、今後女性の参画も検討中とのことだが、女性だけの「女性防災会議」も開催されるよう要望する。また防災

行政無線の整備状況について問う。  
**答** 住民に直接情報を伝えられる固定系のパンザマスト14か所と移動系の無線機器を市内48か所の避難所に設置している。また、この防災行政無線は、いつでも使用できる状態を保つため、専門業者に保守点検を委託している。

**問** 早急な避難者への支援のための物資が、未配備の避難所への取り組みについて問う。

**答** 配備に向け、協力要請を行い、早ければ来週から配備できるようしていく。  
**問** 避難所である学校の耐震化の現状と今後の予定について問う。  
**答** 柏原市の学校の耐震化率は、51・5%である。文部科学省より「施設整備基本方針」を改正し平成27年度までに完了との目標が示されたので、財政状況も勘案しながら耐震化の早期実現を進める。

## 地域担当制による まちづくりを！

公明党  
中村 保治



問 柏原市の地域力を活かしたまちづくりについて問う。

答 地域担当制とは、市職員などが各地域の担当者となり、地域ごとで異なる問題や課題に対する意見収集やその集約、解決方法の検討などを市民とともにを行い、地

## 市の情報公開について

柏原維新の会  
寺田 悦久



問 本市の情報公開条例第一条に、「市政が市民からの厳粛な信託によるものであることを認識し、市の機関の保有する情報の一層の公開を図り、もって市政の諸活動を市民に説明する責務が全うされるようにする」とある。本市では、

## 幼稚園の廃園は ありえない

日本共産党  
橋本 満夫



問 柏原東幼稚園を廃園にする理由について問う。

答 休園が2年続き、来年度以降4年間の入園児数を算出した結果、いずれの年度も1学年15名に満たない見込みのため廃園にする。要望 廃園や休園にする前に、

域の皆さんと行政が力を合わせてまちづくりを行っていくための橋渡し役となるものと考えている。市としては、今後先進市の状況を参考に、地域との関わり方や担当者の人数、常駐場所等を含む市としての体制づくりなどについて研究を重ね、将来的にはモデル事業の実施の可能性も視野に入れながら、地域と行政のより良い協働の型を模索してまいりたい。

市民の皆様が容易に閲覧できるように市役所2階に情報コーナー等も設けられているが、市立柏原病院の情報提供などは、ホームページにも情報コーナーにも、行政文書、業者選定、入札結果等、一切の情報が自主開示されていない。病院事業管理者にその理由を聞く。

答 市立柏原病院の情報公開は非常に少ない状態であった。ご指摘によりあらためて情報発信の大

柏原市や教育委員会としてやらなければいけないことがある。児童の減少を理由にしているが、今年度に策定された、市政運営上最上位に位置づけられる第4次柏原市総合計画では、10年後の人口目標を8万人にし、そのため特に、子育て支援策の充実など若い世代の定住化促進に重点がおかれている。今回の提案はこれに反するものである。議会としても、保護者から

## 要望

愛知県高浜市では、地域でしか解決できない、あるいは地域で取り組んだ方がより良い方向に進むと思われる課題・事業に関して、地域の責任において自主的・主体的に実施していくために、必要な権限と財源を移譲する「地域内分権」を進めている。その中の「住民力の強化」を具現化した施策の一つとして取り組んでいるのが「地域内分権の推進」である。



市役所2階の情報コーナー

のニーズの高い施設整備として、教室や遊戯室へのクーラー設置や大阪府内で7市4町1村がすでに実施している3年保育などを何度も要望したが改善されていない。柏原東幼稚園がなくなると遠く離れた柏原東小学校区外にある、他の公立幼稚園に通わなければならぬ。4・5歳児の足では何十分もかかる。また、公立と私立の入園料や保育料には大きな違いがあ

これは、地域でしか解決できないことや、地域で取り組んだほうがより良いサービスにつながるものは地域で行い、そのために必要な権限と財源を地域に渡し、地域の自主的・主体的な取り組みに任せるといふもので、小学校区ごとの「コミュニティ組織「まちづくり協議会」を順次発足させ、魅力的で実効性のあるまちづくりを行政と協働で行っている。編成にあつ

切さを痛感している。今後、積極的に情報公開をするように指示をした。改めてまいりたいと考えている。

問 情報公開は非常に大切である。情報公開請求によるものでなく、情報コーナー等を利用して積極的に公開すべきである。本市が基本財産の出資もしくは支援など、継続的に人的、または財政的に関与している団体、つまり外郭団体

り、1年間の保育料は公立で9万円、民間で約27万円ではあまりにも差がある。私立幼稚園に通わせることができない家庭も多くある。幼稚園のあり方基本方針に「当該地域の市民の理解を得られるように丁寧な手続きに務めること」とあるが、住民説明会を広報で案内し、来られた住民が6人だけでは丁寧な手続きをしたとは言えない。本来ならPTA協議会、健全

では部長職、保育士、教諭職、医療技術職、単純労務職を除く全職員を対象に公募し、担当校区における「御用聞き」、総合相談役としての対応、地域の課題や住民意見を把握し、各種行政計画や施策へ反映している。その結果、「住民力の強化」と「職員力の強化」が図られる。柏原市においても一度検討していただき推進していただくことを強く要望する。

の情報公開も大切である。例えば、柏原市の健康福祉財団、健康保養センター「サンヒル柏原」の情報も乏しい。業者選定、入札結果、経営状況、採用など、より一層ガラス張りにすべきであると思うが、考え方を聞く。

答 サンヒル柏原の事業内容、運営方法など、情報コーナーで開示できるように検討してまいりたい。

育成会、そして区長会へも十分に説明し、一緒になってこの少子化の問題を考えていく必要がある。その点でも、あまりにも荒っぽくて無責任である。行政として、一杯児童が増えるように努力するソフト面・ハード面もまだまだやらなければならないことがたくさんある。多くの課題が残っている中で、歴史のある柏原東幼稚園の廃園はありえない。

## 関電道路の 取り締まりについて

柏原維新の会  
大坪 教孝



問 最近深夜に、大きなエンジン音をとどろかせながら、走り回っている「サーキット族」が出没しているが、その取り締まりについて問う。

答 通報があれば現地へ行き、暴走行為や車両の整備不良等であ

れば、交通違反行為として対処し、現地から立ち去るよう指導する。

要望 深夜から明け方近くまで、4時間も5時間も走り回っていることもある。通報が無くて、パトロールをしていただくとお願いする。

問 土砂を搬入する大型ダンプの取り締まりについて問う。

答 8月以降4回取り締まりを行ったが、違反の大型車両は無く、

全て通行許可証を所持していた。

問 3トン以上の大型車両は通行禁止であるのに、警察でなぜ、通行の許可を出されているのか、不許可にできないのか。

答 警察より資材を運搬する場合、不許可にできないと聞いている。

問 積んでいる土砂が、残土なら不許可で、資材という位置付けなら許可ということか。地元住民

だけでなく、多くの市民に理解を得られるだろうか。いくらお願いしても、誰がお願いしても、警察で許可している以上、この関電道路から、大型ダンプの通行を無くすことは、不可能なのか。土砂を搬入する大型ダンプが、通行することをやめて欲しいと望んでいる。

市として、打つ手は無いのか。

答 残土運搬車両だけでなく、資材運搬車両についても、他のルートを通行するよう、柏原警察署に指導していただくようお願いして参りたいと考えている。

## 柏原オリジナル募金 バンクシステムの設立を！

市民・民主クラブ  
鶴田 将良



問 骨髄バンク、心臓などの移植手術、病氣治療に対して、市の支援策を問う。

答 骨髄、心臓、肺、肝臓、腎臓などの疾患には、臓器移植等を施さなければ、回復が望めないこともあり、あらかじめ提供容認者

の登録をしておく骨髄バンクや、腎臓バンクといった制度がある。骨髄バンクについては、本市も献血推進協議会を通じて登録の募集に協力している。

しかし、心臓移植など海外で治療しなければならぬ場合、ケースによって異なるが、7千万円から1億円程度の費用が必要になるといわれていることから、新聞や各市の広報、インターネット等で

支援の募金活動が行われているのが実情である。

本市においても、健康相談などを通じて、具体的事案が発生したら、社会福祉協議会と協議しながら、募金など支援策を講ずることによって、援助して参りたいと考えている。

問 個人の海外移植手術の支援団体はたくさんあるが、保険適用外により十分な支援となっていない。

い。そこで柏原市が主体となって募金活動・募金バンクを立ち上げてはどうか。

柏原市と市立柏原病院が連携して、移植手術を海外で受ける必要がある方に対し、企業を含む各方面からの、募金窓口をつくり、集まった支援金を提供する。これを受けた方は、将来元氣になって柏原市関連基金にボランティアとい

う形で、可能な限りの基金協力をいただき、貢献をしていただく、といった施策の実現を検討してはどうか、考えを問う。

答 今後、社会福祉協議会をはじめ関係各所と協議し検討する。

## 発達障害児支援の 充実を

自由民主党政新会  
山下亜緯子



問 本市の発達障害児支援の取り組み状況を問う。

答 本市では、新生児訪問や乳幼児健診などを通じ早期発見に努めている。発達に遅れが見える幼児には指導を行い、地域子育て支援センターでの親子教室や、自立

支援センターでの療育教室、また保育所での障害児保育など発達に合った支援をすることで早期療育につなげている。平成24年4月1日付の法改正により、障害児に対する支援については児童発達支援に再編され、その実施主体は市町村となり、他の障害と同様に児童発達支援の枠組みで実施される。今後、本市においても法改正の趣旨を踏まえ体制整備に努める。



療育指導を受ける子どもたち

問 現在、本市には専門療育実施設がなく、子どもや保護者は、東大阪市や河内長野市へ通われている。来年の法改正に基づき、本市での体制整備について問う。

答 現在、ある社会福祉法人が発達障害児への専門療育等を目的とした通所施設を平成24年度より柏原市内に開設すると聞いている。身近な地域で専門療育を受けることができ、サービスの向上につな

がると考えている。本市としては出来る限り連携し、経過を推察しながら協力していく。

要望 来年度より子どもさんや保護者の方が市内で専門療育のサービスが受けることができるようになることをうれしく思う。行政として、新しく開設される施設としっかり連携し、子どもさんや保護者を支えていただくよう強く要望する。

## 災害時の避難誘導の 伝達方法について

市民・民主クラブ  
岸野友美子



**問** 災害時における市民への避難誘導の伝達方法としてのパンザマストの設置数と増設について、またそれ以外の情報伝達手段としてどのようなことをしているのか。

**答** 市内14か所に、大阪府の補助金、100%で設置した。高価

なため、今後の増設は考えていない。別の情報伝達手段として、NTTドコモの携帯でのエリアメールを今年10月から配信できるようになった。

**要望** 携帯を持っていないだけで、何の手続きをしなくても緊急速報が受けられるのはありがたい。他2社の携帯も早急にエリアメールを受けられるように手続きをお願いする。

先日、十津川村に行った時「パンザマストでの呼びかけの際は、私たちも、南三陸町の職員のように最後までマイクを握っているよね」との役場職員の声を聞き、切ない気持ちになった。「未曾有」「想定外」と表現される震災であるが、このような職員への対応も是非想定して、悲しい結果にならないように対策を整えて欲しい。また、先日旭ヶ丘2丁目1区で



多数参加の自主防災訓練

自主防災訓練を行った。「見るだけでなく、体験して下さい」と言われ、ほとんどの参加者が体験した。「釜石の奇跡」が立証したように、日頃の備えがどれだけ大切か、「犠牲者0が不可能なことではない」ということである。以前からお願している市庁舎での避難訓練や、放課後児童会等、色々な場所での避難訓練の実施を早急に行って頂くよう強く要望する。

## 災害時の避難所の 強化を

日本共産党  
山本 真見



**問** 災害時の避難所の備蓄品の配備状況について問う。

**答** 避難所は市内48か所で、29か所の避難所に毛布・ブルーシート・照明付きラジオを配備し、残り19か所の学校教育施設は施設管理者に働きかけ配備を進めている。

**問** 災害が起こったとき水や食料、電気をどうするのか。避難所は自家発電ができるようになってくるのか。また地域防災計画の中の生駒断層帯地震の被害想定で、り災者3万6千人、避難所生活者1万1千人と書いてある。簡易トイレは避難所生活者1000人に1基の基準になっている。ライフラインが壊滅したら倒壊しなかった家庭でも下水が使えない。そんな

と近くの避難所のトイレに行かれる可能性も非常に高い。今の簡易トイレで対応出来るのか。

**答** 賞味期限のあるアルファ米は、毎年2千食ずつ買い換え賞味期限が切れないようにしている。備蓄水は、大阪府の備蓄水をもらい市内17か所の防災倉庫に保管している。自家発電はできないが業者と協定するようにする。トイレは防災計画見直し時に検討する。

**要望** 先日日本共産党柏原市会議員団で、東大阪市消防局の防災学習センターに視察に行った。地震の揺れの体験では、阪神淡路大震災やこれから起こる可能性がある、東南海地震を想定しての揺れを感じ地震の恐ろしさを体験してきた。震度7の想定では柏原市でも多くの住宅が倒壊してしまうのではないかと思うほど激しい揺れだった。震災が起こり避難所とな

るのは多くは、小・中学校だ。避難所機能の強化、これについては市民の皆さんの関心が高く緊急の課題である。この間の被災地の現状、大震災の現状を見ても、現在の柏原が持つ地域防災計画で十分に対応できるのか、不安だ。柏原市が想定する災害に対して、地域住民の命を守る拠点になるよう強化し市民の切実な願いを受け止めて今後も取り組んで欲しい。

## 小中学校の 防災対策について

市民の会  
藤森 洋一



**問** 今年は東日本大震災を始め天災の多い年であったが、小中学校の防災対策について問う。

**答** 幼・小中学校の屋内運動場は、優先的に耐震補強工事を行い、平成22年度には、すべて完了した。校舎棟の耐震化は、当初の計画を

前倒しして進めるよう努める。各学校園で消防計画を作成し、避難訓練を年2、3回行い、東日本大震災を教訓に、児童・生徒の登下校時や在宅時の対応についても指導している。

**問** 先日の新聞によると、小中学校の8割に緊急地震速報の受信機が設置されていないとのことだが、各学校の設置状況を問う。

**答** 本市の学校園には現在、緊

急地震速報・緊急時速報の受信機の配備は無い。しかし、9月末に文部科学省より、平成24年度から3年計画で気象庁の緊急地震速報を活用するシステムを全額公費負担で、全国の学校園に順次配備すると発表された。現在、市内の全学校園には、緊急時用の防災無線受信機を設置している。

**問** 平成24年度から公費負担で設置が決まったとのことであるが、

だが、防災担当教員の全校配置について、考えを問う。

**答** 先の大震災で多数の児童・生徒が犠牲になったことを教訓とし文科省は児童生徒が「どうすれば生き残れるか」を自ら判断し、主体的に避難行動ができることを目指して、すべての学校に防災の専門知識を持つ教員を配置すると発表した。市としては大阪府教育委員会の通知を受け、指導主事等

を派遣し、かつ各学校の安全教育担当教員等を中心に研修会を実施し、担当教員を育成していく。

**要望** 文科省は、来年度から小中学生が地域の人と学校に二泊する防災キャンプを試験的に始め、災害時に子供が生き抜くための教育に乗り出すとしている。大阪教育大学には安全教育に不可欠な名譽教授もおられる。他市に先がけたモデルケース作りを望む。

# 陳 情 等

○柏原市文化連盟からの要望

柏原市文化連盟

(この陳情は、議長預かりとなりました。)

## 建設産業委員会研修・視察

市立勤労者センターの視察と「ひきこもり」支援についての研修を行いました。

建設産業委員会と希望する議員で、12月15日に市立勤労者センターを訪問し、「ひきこもり」支援についての研修を受けました。

当日は、まず市立勤労者センターの施設の視察を行い、その後、地域就労支援センターの藤本武コーディネーターより、本市における「ひきこもり」支援の現状と問題点、今後の課題とその対策等についての研修を受けました。各議員より多くの質問が行われ、活発な議論が展開されました。



## 第1回定例会（予定）

| 月 日           | 会 議 名   | 内 容                |
|---------------|---------|--------------------|
| 2月22日(水)      | 本 会 議   | 市政運営方針演説、議案説明      |
| 3月8日(木)       | 本 会 議   | 市政運営方針に対する質問及び議案質疑 |
| 9日(金)         | 本 会 議   |                    |
| 12日(月)        | 本 会 議   |                    |
| 13日(火)        | 本 会 議   |                    |
| 15日(木)・16日(金) | 総務文教委員会 | 付 託 議 案 審 査        |
| 19日(月)・21日(水) | 市民福祉委員会 |                    |
| 22日(木)・23日(金) | 建設産業委員会 |                    |
| 28日(水)        | 本 会 議   | 各委員長報告、採決          |

※いずれの会議も午前10時からです。 ※日程は変更する場合があります。

○編集委員  
 奥山 真見 渉  
 濱浦 佳孝  
 大坪 教孝  
 (○は委員長  
 ○は副委員長)

本年1月号から新しい編集委員で編集を行っています。

## 柏原市議会ホームページ

柏原市議会のホームページでは、本会議の録画中継や市議会会議録など、市議会の情報等がご覧になれます。

柏原市議会

検索

柏原市議会ホームページアドレス

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/gikai/>

## 12月議会で決めたこと

- ◇平成22年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について  
(賛成12人[自由民主党政新会、公明党、柏原維新の会、市民・民主クラブ、会派に属さない議員]、反対4人[日本共産党、市民の会])
- ◇平成22年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について
- ◇平成22年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定堅上診療所)歳入歳出決算の認定について
- ◇平成22年度柏原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成22年度柏原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成22年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成22年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
(賛成14人[自由民主党政新会、公明党、柏原維新の会、市民・民主クラブ、市民の会、会派に属さない議員]、反対2人[日本共産党])
- ◇平成22年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について
- ◇平成22年度柏原市水道事業決算の認定について  
(以上、認定)
- ◇公平委員会委員(笠井和憲氏)の選任につき同意を求めることについて
- ◇固定資産評価審査委員会委員(西村不器雄氏)の選任につき同意を求めることについて
- ◇教育委員会委員(田中保和氏)の任命につき同意を求めることについて  
(以上、同意)
- ◇専決処分報告(専決第16号 和解について)について(承認)
- ◇公の施設(柏原市立堅下北コミュニティ会館)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市立柏原西コミュニティ会館)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市立玉手地域コミュニティ会館)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市立国分東コミュニティ会館)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市立堅上コミュニティ会館)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市立学習等供用施設)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市立老人福祉センター)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市自転車駐車場)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市自動車駐車場)の指定管理者の指定について
- ◇公の施設(柏原市民文化会館)の指定管理者の指定について
- ◇長瀬川沿岸下水道組合の解散及び財産処分に関する協議について
- ◇柏原市立幼稚園条例の一部改正について  
(賛成14人[自由民主党政新会、公明党、柏原維新の会、市民・民主クラブ、市民の会、会派に属さない議員]、反対2人[日本共産党])
- ◇平成23年度柏原市一般会計補正予算(第5号)
- ◇平成23年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)
- ◇平成23年度柏原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ◇平成23年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- ◇一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について  
(以上、原案可決)

## 請願

- ◇市民のくらしを守る請願  
(不採択14人[自由民主党政新会、公明党、柏原維新の会、市民・民主クラブ、市民の会、会派に属さない議員]、採択2人[日本共産党])
- ◇柏原市放課後児童会の改善についての請願  
(不採択13人[自由民主党政新会、公明党、柏原維新の会、市民の会、市民・民主クラブの1議員、会派に属さない議員]、採択3人[日本共産党、市民・民主クラブの1議員])(以上、不採択)
- \*採決で賛否が分かれた場合は、会派名、又は議員氏名のいずれかを掲載します。
- \*一般採決では、可否同数にならないかぎり、議長は採決に知りません。